

いざ“入院”のために 知っておきたいこと。



今月号は、入院が決まって最初の入り口『入退院支援センター』にまつわるお話です。
入院が決まったら何が必要なの？入院の流れは？など気になる情報をお届けします。

彩

いろいろ

「院内の白い壁に色鮮やかな彩を。」



目にとめてくださった患者さんが「毎月楽しみにしているよ」と声をかけてくださるのがうれしいです。

患者支援センター
告 博美 主任



当院の正面玄関を入ってすぐの右側に稲沢市民病院基本理念が掲示してあります。その周りの折り紙で作った飾り付けが毎月、変化していることに気づいた方はいますか？飾り付けをしている告看護師は“患者支援センター”の所属で患者さんの意思決定支援を中心とした仕事をしています。

「この病気は何科を受診したらいいの？」「福祉サービスや介護申請の方などを教えて欲しい。」など普段は患者さんやご家族の悩みや疑問の相談に応じています。そんな告看護師が玄関や患者支援センターの待合室の飾り付けをはじめたきっかけは、「院内の白い壁を色鮮やかな彩で患者さんをお迎えすることで、色の持つ効果で不安な気持ちに少しでも寄り添うことができたら。」という気持ちからだそうです。得意な手芸をいかし患者さんに喜んでもらえるとうれしいそうです。
告「ご覧になったことがない方は、もし当院にお越しになる際は、どんな飾り付けになっているか気にかけてくださったらとてもうれしく思います。」



あなたは、何色が好きですか？たとえば、気合をいれてがんばるぞー！というときには、赤色を使うことはありませんか？受験のときの必勝ハチマキや、アメリカ大統領選のときの赤いネクタイなど・・・なぜ赤色か？赤は情熱や力強さなどエネルギーを感じる印象を受けます。パッション！！ね。そろそろおなかですいたわ。ハンバーガーが食べたい。あら？赤って食欲増進しますわ。色って・・・ココロを動かされます。

色の数は1000万以上！？



News

色いろ



いざ“入院”のために知っておきたいこと。

入院が決まって最初の入り口『入退院支援センター』にまつわることや入院についてお話しします。



入退院支援センターとは？

入退院支援センターでは、患者さんが安心して入院生活を送ることができるように入院前から日常生活の様子をお聞きしています。また、内服しているお薬の確認や検査・手術などの説明を行います。そして入院後の希望もお聞きします。退院後の暮らしまでを見据えて、患者さんの不安や疑問を解消することで、**安心して入院生活を送ることができるように環境を整えていく場所が入退院支援センター**です。



どんなスタッフがいるの？

専任の看護師、医療ソーシャルワーカーなどの多職種が連携して地域ともつながり、退院後の暮らしを見据えた支援をおこなっています。

予約入院される方には、入院支援看護師が手術や検査などのスケジュール調整をはじめ、入院生活についての説明をしています。入院中の治療や検査、看護がとどこおりなく行え、無事に退院できるように調整しています。入院中にかがった情報は守秘義務を守り、患者さんやご家族の意思を尊重した支援を目指しています。

急な入院で慌てないためには？

point

薬の置き場所を家族で共有しておく。

普段飲んでいる薬がどこに置いてあるか、本人だけでなくご家族の方も把握しておくといざというとき慌てません。また、薬の置き場所はバラバラで保管するのではなく、一箇所にまとめておく探す手間が省けます。

point

入院時に必要な持ち物をまとめておく。

災害時の非常用持出し袋のように、入院時に必要となる日用品をまとめておくと、いざというときの備えになります。

【入院生活で主に必要なもの】

- 洗面用具（歯ブラシ、歯磨き粉など）
- 入浴用具（シャンプー、リンス、ボディソープ、バスタオル など）
- 下着類
- 寝衣（パジャマなど）
- 日用品（ティッシュ、タオル、時計 など）
- 必要に応じて、眼鏡、義歯、補聴器など（日頃使用している物）
- 食事用具



※コップ・お箸・スプーンについては、病院で用意します。
形状等が合わない場合はご自身でご用意ください。

便利なレンタルもあります！

当院では、**入院時に必要となる衣類やタオル、日用品等を日額定額制でレンタルいただけるサービスをご用意**しております。患者さんの衣類やタオルを洗濯し、交換のために来院されるご家族さんの負担軽減にもなります。ご希望される方は、職員までご相談ください。

予約入院の流れ



各外来で入院決定

医師により入院が決定したら
手術・検査・お薬の中止の説明を受けます。



入院の手続き

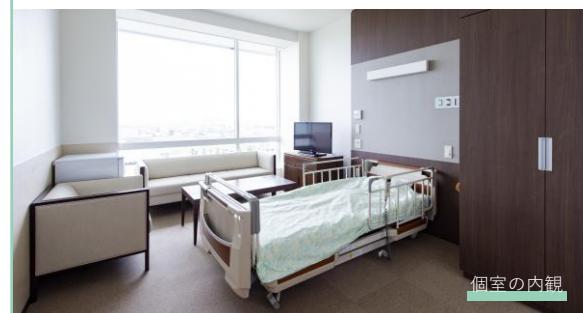
お時間は30分程度

1階の「**20番 入退院支援センター**」までお越しください。事務員から入院の説明、病室の希望確認、入院生活で必要となる物品等の説明をさせていただきます。他には、看護師から患者さんのこれまでの病歴や入院までの経過、日常生活の様子などもお伺いさせていただきます。入院のスケジュールをもとに入退院支援をおこないます。



入院当日

入院当日は、指定された時間に来院していただき、1階の「**20番 入退院支援センター**」で手続きをしてください。こちらで入院申込書をご提出いただけます。手続きが終わりましたら、入院される病棟まで職員がご案内いたします。



藤田 真利子 師長

入退院支援センター看護師が大切に思うこと

患者さんの入院が決定し、入院手続きをする窓口が入院受付です。入院受付は患者さんが不安を抱きながら来る場所だと思えます。来院された患者さんのほとんどが、最初は緊張で表情がこわばっています。しかし、私たちはそんな患者さんの表情を見ながら「**ここで安心して治療が受けられる**」と思っていただけるような対応を心がけています。入院中に対する不安や疑問などが話しやすい雰囲気を作るために、お部屋の環境づくりも大切にしています。

入院の期間は長い人生の一時に過ぎないかもしれませんが、患者さんにとっては一大事です。ときに高齢の患者さんは入院生活をきっかけに生活環境が変わる方もいます。患者さんが希望する場所に退院できるように支援するのがわたしたち入退院支援センターの役割でもあります。そして退院後も地域と連携しながら患者さんの暮らしのお手伝いができるように切れ目のない支援体制を整えています。退院時に入院患者さんから「ありがとう」と訪問される事もあります。そのときは本当に心からうれしく感じます。「縁の下の力持ち」という言葉がありますが、**病気を治療される患者さんの入院から退院、そして外来通院まで支えられるよう今後も努めていきたい**と考えます。